

武蔵野市子宮頸がん予防ワクチン接種後の 症状に関する状況調査について

調査実施期間：平成 27 年 3 月 31 日から 4 月 22 日まで
(7 月 1 日到達分まで集計)

平成 27 年 7 月

武蔵野市健康福祉部健康課

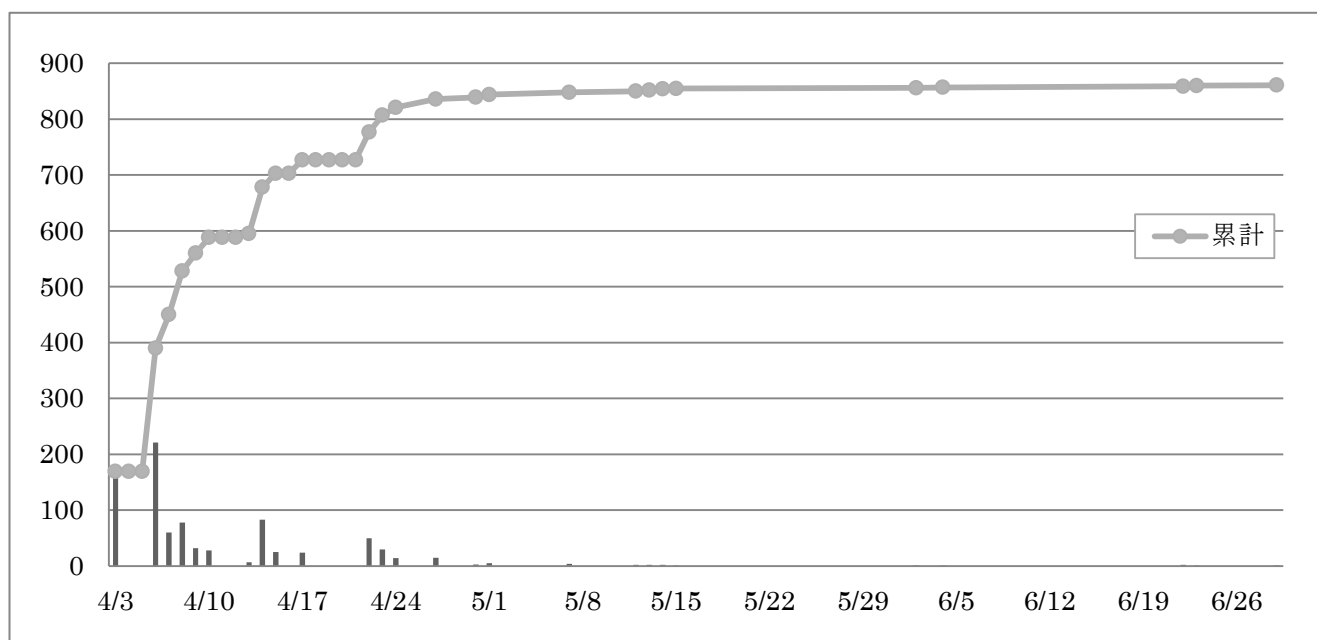
子宮頸がん予防ワクチン接種後の体調変化に関する状況調査について

武蔵野市が実施する子宮頸がん予防ワクチン接種を平成23年1月15日から平成27年3月までに受けた方の、接種後の症状に関する調査結果は、次のとおりです。

なお、調査実施とあわせて、接種した方に対し、子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応と思われる症状が多岐にわたること、接種後数か月以上経過してから現れる場合があることについて周知すると同時に、専門の相談窓口や医療機関を案内しました。

この調査結果は、今後の子宮頸がん予防ワクチン接種に対する本市の取組方針の参考とします。

調査方法	調査用紙を送付し、郵送で回答（無記名）
調査実施期間	平成27年3月31日（火曜日）から4月22日（水曜日）
有効送付数	1,934人
回収数・回収率	862人（7月1日（水曜日）到着分まで）、44.6%



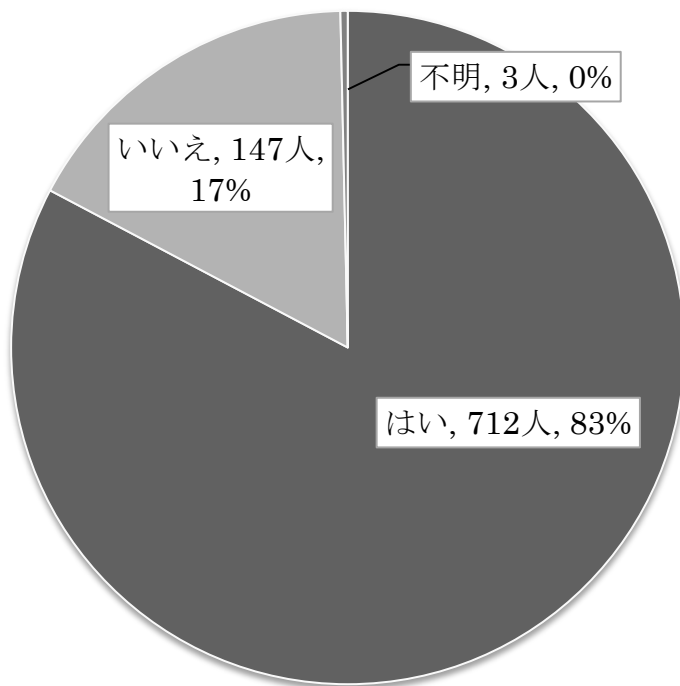
【参考】同様の調査を実施した他市での回答率等の状況

市町村名	実施時期	有効送付数	回収数	回収率
鎌倉市	平成25年10月	3,060	1,795	58.7%
大和市	平成25年12月	5,200	2,294	44.1%
藤沢市	平成26年4月	6,995	3,469	49.6%
国立市	平成26年6月	895	379	42.3%

問1 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について
「積極的勧奨を差し控えている」ことをご存知ですか（一つだけ）

回答数862

■ はい ■ いいえ ■ 不明

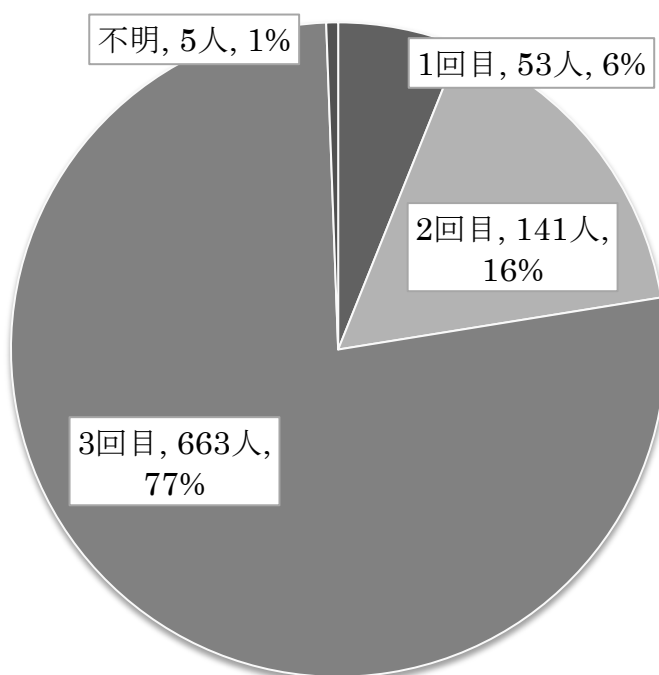


8割を超える方から、積極的勧奨が差し控えられていることを知っているとの回答が得られました。
「この調査で初めて知った」という方も見受けられました。

問2 子宮頸がん予防ワクチンを何回目まで接種しましたか（一つだけ）

回答数862

■ 1回目 ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 不明

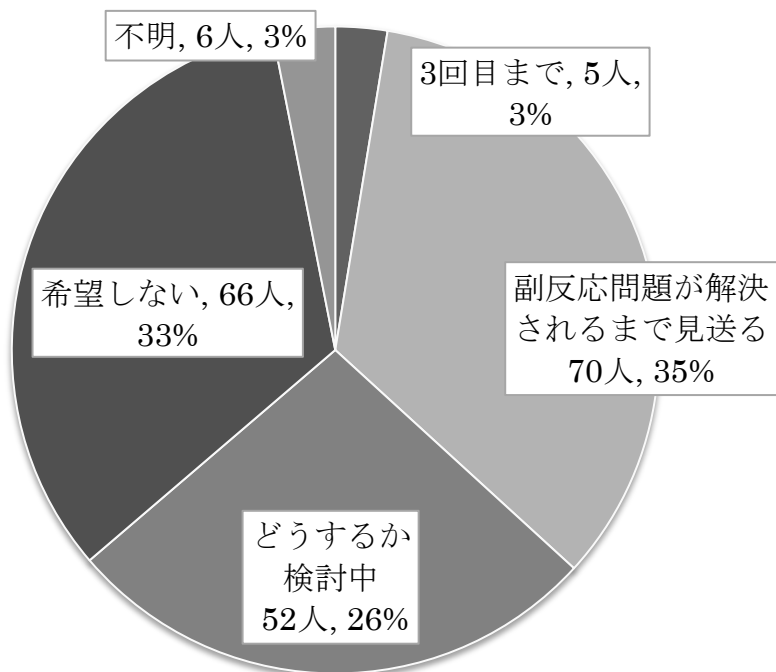


3回目まで接種された方が、8割近くを占めています。

**問3 まだ3回目の接種がお済みでない方へ
2回目、3回目の接種を希望されますか（一つだけ）**

回答数199

■ 3回目まで ■ 見送る ■ 検討中 ■ 希望しない ■ 不明



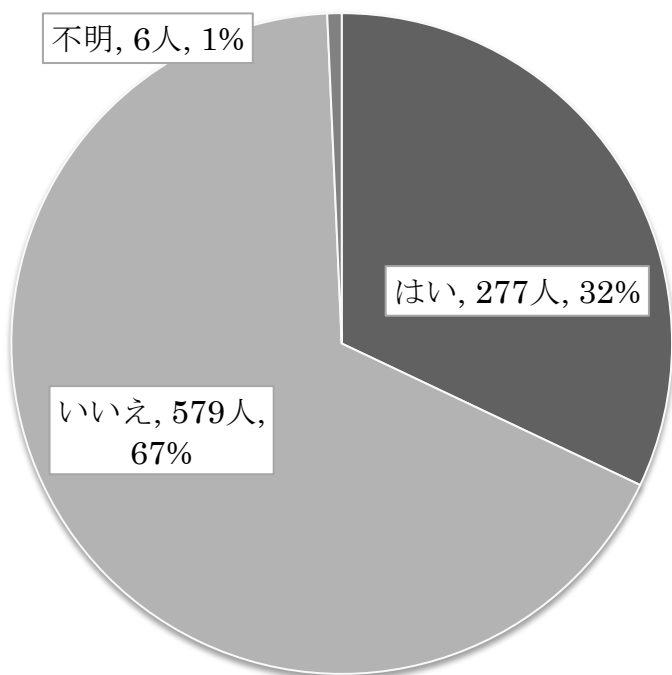
接種が完了していない方のうち、3回目まで接種を予定している方は5人で、3%に過ぎませんでした（そのうち、積極的勧奨が差し控えられていることをご存知だった方は2人）。

一方、希望しない方は33%を占めました。副反応問題が解決されるまで見送る方、検討中の方をあわせると、9割を超えています。

問4-1 接種後、いつもと違う体調の変化がありましたか（一つだけ）

回答数862

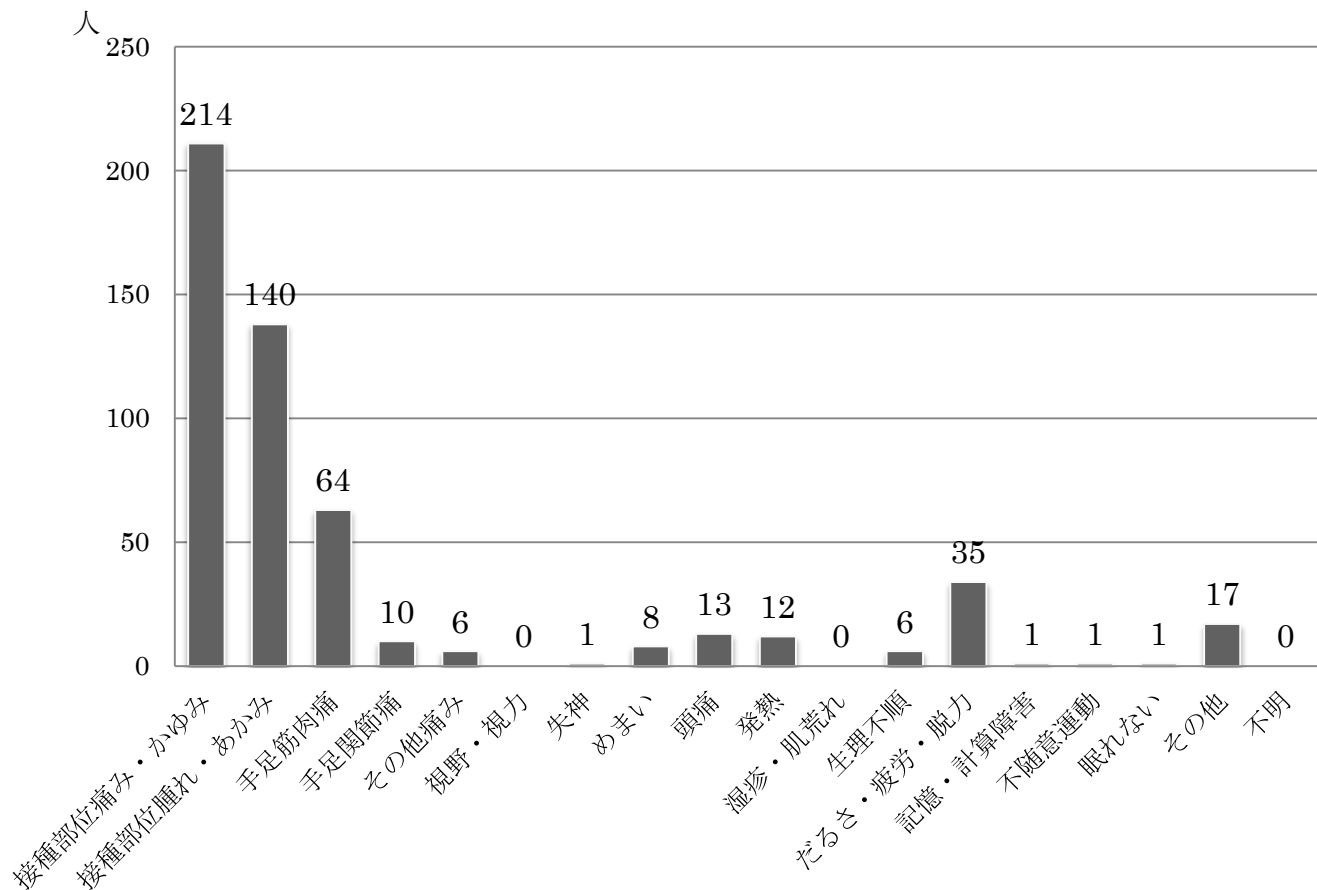
■ はい ■ いいえ ■ 不明



接種後、何らかの症状の発現があったと答えた方は、3割以上を占めています。

問4-2 それはどのような症状でしたか（あてはまるものすべて）

回答数529（277人）



接種部位の痛み・かゆみ	214	77.3%
接種部位の腫れ・あかみ	140	50.5%
手足の痛み（筋肉痛）	64	23.1%
手足の痛み（関節痛）	10	3.6%
その他の痛み	6	2.2%
視野狭窄・視力低下	0	-
失神	1	0.4%
めまい	8	2.9%
頭痛	13	4.7%
発熱	12	4.3%
湿疹・肌荒れ	0	-
生理不順	6	2.2%
だるさ・疲労感・脱力感	35	12.6%
記憶障害・計算障害	1	0.4%
不随意運動	1	0.4%
眠れない	1	0.4%
その他	17	6.1%
不明	0	-

子宮頸がんワクチン接種後に何らかの症状が発現した方のうち、「接種部位の痛み・かゆみ」、「接種部位の腫れ・あかみ」のあったと答えた方は、それぞれ214人（77.3%）、140人（50.5%）と多数を占め、「手足筋肉痛」が64人（23.1%）と続いています。

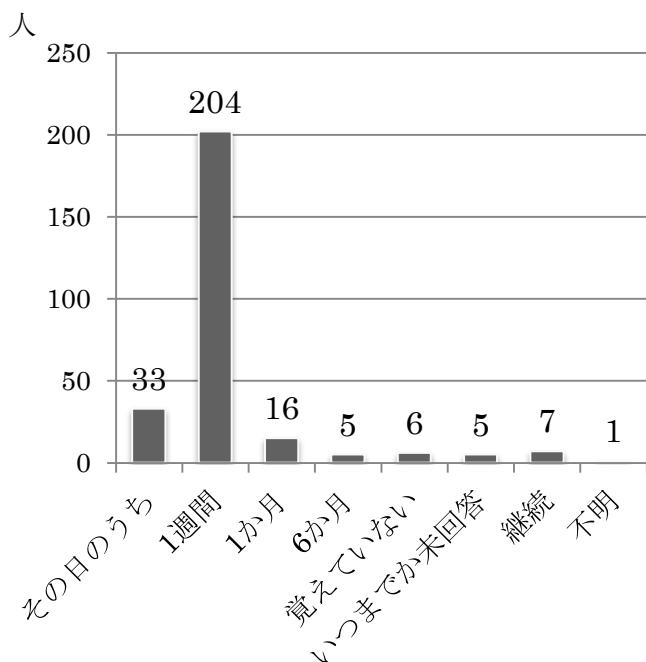
子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状として特異的にみられると言われる「だるさ・疲労感・脱力感」が35人、「めまい」が8人、「失神」、「記憶・計算障害」、「不随意運動」がそれぞれ1人の方に現れたとの回答でした。

「その他」の内訳

腕が上がらない 4、吐き気 3、しびれ 2、リンパ節膨張 1、腹痛 1、貧血のように倒れた 1、長時間眠った 1、尿たんぱくが+3 1、寒気 1、腕が痛い 1、目眩（光過敏）・上下肢脱力・幻聴・動悸・情緒不安定 1

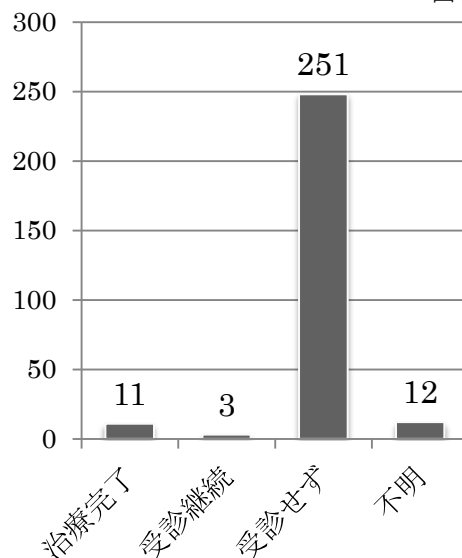
**問 4-3 症状の変化はありますか
(一つだけ)**

回答数277



問 4-4 症状が出た際に医療機関を受診されましたか (一つだけ)

回答数277



症状がどの程度継続したかを問う問 4-3 において、「その日のうち」「1週間以内」に症状がなくなったと答えた方はあわせて 237 人と 85.6%を占め、1か月や6か月以内と長期に渡った方は 21 人 (7.6%) でした。

一方、「現在も継続している」と答えた方は 7 人 (2.5%) であり、その症状 (現在継続中ではない症状も含まれます) は次のとおりでした。接種部位の痛み・かゆみ、接種部位の腫れ・あかみ、手足の痛み (筋肉痛・関節痛)、その他の痛み (肩、背中、腰)、めまい、頭痛、生理不順、だるさ・疲労感・脱力感、記憶障害・計算障害、不随意運動、眠れない、その他 (光過敏・上下肢脱力・幻聴・動悸・情緒不安定、腕から手までのしびれ)、腹痛。

医療機関を受診したか問う問 4-4 において、受診を継続していると回答したのは 3 人 (1.1%) で、受診しなかったと回答したのは 251 人と 9 割以上を占めました。医療機関を受診しなかった理由として「そのうち治った」、「筋肉注射なのでこんなものかと思った」、「事前にこのような症状があると説明があった」等を挙げる方がほとんどでした。一方で「(ワクチン接種との) 因果関係がはっきりしない」、「遺伝だと思った」、「持病があるのでワクチンのせいとは思ってもらえない」という理由で受診しなかったと答えた方も見受けられました。

「受診した (継続中)」と回答した 3 人のうち一人は問 4-3 で症状が 2 年以内になくなったと回答し、二人は症状が「現在も継続している」と回答しています。

「自由記載欄」へは、118 人 (13.7%) の方に記載いただきました。「予防接種事業を安全に実施してもらいたい」、「このような副反応のあるワクチンを導入したことに憤りを感じる」、「予防接種導入前に念入りな調査検討が必要だ」といった行政への批判や要望、「今後どのような症状が出てくるのか不安」、「副反応のことを知っていたら接種しなかった」、「接種したことを後悔している」という心情を訴えるもの、「子宮頸がん予防のためには接種してよかった」といった意見がありました。